

私のふるさと



宮の杜
橋本和昭さん



北海道
赤平市

私のふるさは北海道の赤平市あかひらです。私が子どもの頃の赤平市はいわゆる炭鉱の町で「炭住」と呼ばれる炭鉱労働者用の長屋に住んでいました。長屋の周辺は低い山々に囲まれていたため、山の幸の宝庫でした。時期になると、山菜や山葡萄などを求めて山を歩き回っていました。また、石炭を水で洗う「洗炭」の作業で真っ黒になった川の岸边や、畑の周辺をいつも駆け回っていました。そのためか、70歳を過ぎた今も野外で遊び回っており、毎年30回前後は宇津峰山や牡丹園などを訪れ、自然観察を楽しんでいます。

ふるさを離れ社会人になってからは、転勤族で全国の国立学校の施設整備に携り、縁あって福島大学に勤務しました。在職中に、福島県民のフレンドリーな県民性に魅了され、県内で土地を探したところ、須賀川の自然がとても気に入り、終の棲家として住居を定めました。

福島県民の人柄の優しさや親しみやすさを最初に感じたのは、穏やかで優しさあふれる車の運転でした。私も児童の交通安全の役に立てればと思い、本年度から交通教育専門員として、小学校近くの交通量の多い所で児童の交通誘導に携わっています。これからも、この優しい町で子どもたちの安全を見守っていきます。



サークルとわたし



いっぽ いっぽ IPPO-IPPO

代表者 遠藤千夏
 会員 8人
 発足年月 令和4年3月
 連絡先 ippoippo.2022@gmail.com
 活動日 月1~2回程度
 活動場所 稲田公民館、稲田地域体育館など

IPPO-IPPOは「子育て中の今だからこそできることがある！」という思いから、稲田地区で子どもたちの居場所づくりの活動をしています。

コロナ禍で、友達や地域の方との交流が減っている今、放課後や休日に気軽に集えて笑顔になれるイベント「みんなのいっぽ！」を企画し、月に1回程度、公民館や体育館でレクリエーションなどを開催しています。

「想いのエールをつなげよう」をテーマに掲げ、制服や体操着のリユース活動や、フードパントリーも行っています。地域の子どもの成長を、大人たちが前向きに見守り、つながりをつくっていくことを目指しています。

当日だけのボランティアも募集していますので、できる時に無理のない範囲で協力していただければ幸いです。活動に興味のある方はご連絡ください。お問い合わせお待ちしております。



レクリエーションの前にみんなでお宿題に取り組みます

tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加の際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA
tette Instagram

tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tetteスクールファミリー

「おやこでつくろう麻マットのフラワーリース」
 2月26日(日) 午前10時~11時30分 ※事前申込

tetteスクールシニア「こころ整う太極拳」
 2月28日(火) 午前10時~11時30分 ※事前申込

tetteスクール

「スマホで映える写真の撮り方講座」
 3月11日(土) 午前10時~正午 ※事前申込



tette動画を配信中

生活に役立つ情報をはじめ、家族で楽しめる工作や体操などの動画をtette公式Instagramで配信しています。ぜひご覧ください。



「かんたん！かわいい！バレンタインおかし」2月7日(火)配信

こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

子育て支援講座「ママのおしゃべり会」

2月16日(木) 午前10時~11時 ※事前申込(先着6組)

親子イベント「ひな飾りをつくろう」

2月17日(金)~19日(日)に制作セットを配布
 ※事前申込(先着15組)

子育て相談会

2月22日(水) 午前10時30分~11時30分
 ※事前申込(先着2組)

子育て支援講座「親子でヨガレッツ」

3月2日(木) 午前10時~11時 ※事前申込(先着6組)

図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

2月11日(土・祝)・25日(土) 午後2時
 ※自由参加(定員20人)

おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)

2月15日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)



現在の白江こども園の場所にあった白江尋常小学校(昭和12年)

ふるさとの遺産

No.342

—学校の今昔—

白江小学校

博物館

☎(75)3239

昭和37・38年に建設された木造校舎は、現在の敷地に移転する平成8年まで使われ、市内(当時は岩瀬村)の小学校では最後の木造校舎となりました。現在の校舎は廊下と教室の扉がないオープンな造りが特徴です。

白江小学校の学区は、大久保・矢沢・畑田・北横田・深渡戸の5地区で、明治22年にできた白江村の範囲です。明治5年の学制公布以降、各地区の寺院などに小学校が設置されますが、明治20年に大久保地区を除く4地区が畑田尋常小学校に統合されました。一方、大久保地区の児童は木之崎尋常小学校に通学しました。

事前申込や有料のイベントもありますので、詳しくはtetteにお問い合わせください。